

日本企業の当地国際見本市出展支援（イラク）

在イラク大使館

日時

実施日時：2026年2月1日(日)～2月7日(土)
実施場所：バグダッド市内バグダッド国際見本市会場
訴求対象：現地政府・企業関係者及び一般来場者
開催規模：来場者約15万人(36か国1,200社出展)

概要

- 現地政府・企業関係者及び一般来場者向け製品展示を主旨として毎年開催されるバグダッド国際見本市において、ジャパンパビリオンを確保し、現地進出済もしくは進出検討で日本製品・技術力をPRしたい各企業・JETROなど計18社の出展サポートを実施すると共に、ジャパンデー式典を実施。

効果

- ジャパンデー式典では、政府関係者参加を得て各ブース紹介すると共に、メディアの関心も引きつけ当館臨代がメディアインタビューに答えるなど、幅広い層へのアピール機会となった。
- 事後アンケートで、ジャパンパビリオンに出展した企業の9割以上が、大使館の出展サポートに満足し、かつ来年以降も出展したいと答えるなど、高い満足度を得られた。

特記事項

- 今回は日本大使館ブースを設営した形で上記を実施したが、来年以降の同見本市で日本大使館ブース設営ない場合でも、ジャパンパビリオン確保・日系企業の出展サポート・ジャパンデー式典を実施予定。



Japan-Gulf Business & Investment Forum 2026 ネットワーキングセッション（UAE）

在ドバイ総領事館

日時

実施日時：2026年1月14日（水）
実施場所：Ritz-Carlton Dubai DIFC
訴求対象：現地投資家、投資会社、銀行等
開催規模：約70人

概要

- 日本取引所グループ（JPX）、JETRO主催の対日直接投資促進イベント・Japan-Gulf Business & Investment Forum 2026の一環として、当館主催で約70名規模のレセプションの機会を設けることで、現地投資家等と日本関係者の接点を形成した。

効果

- ネットワーキングセッション参加者から対日投資への関心を示す声があった。
- ネットワーキングセッションには、対日直接投資に関わっている金融庁、経済産業省、JPX、JETROが参加し、当地投資家等との接点形成に寄与した。

特記事項

- Japan-Gulf Business & Investment Forum 2026では、ドバイ総領事、金融庁、経済産業省等が講演し、対日投資の促進を行った。



日本産和牛プロモーションセミナー（クウェート）

在クウェート大使館

日時

実施日時：2026年2月12日（木）

実施場所：日本食レストラン（クラウンプラザホテル）

訴求対象：食品流通事業者、ホテル・飲食関係者、シェフ、食品栄養庁

開催規模：40人

概要

- 昨年9月の日クウェート二国間合意により、ハラール認証を受けた日本産和牛のクウェートへの輸出が開始された機会を捉えて、食肉関連事業者向けに、日本産和牛への理解促進と普及を目的としたセミナーを開催した。
- 冒頭、大使から二国間の経済関係強化の一環としての和牛輸出である旨を言及しつつ、クウェート向けビジネス拡大への期待を述べた。当地日本食レストランのオーナーで「日本食普及の親善大使」を務める武藤慶子氏より、日本産牛肉の特徴として口溶けや旨味成分の豊かさなどを代表的な調理例とともに紹介した。また、クウェート向けに日本産和牛を輸出する事業者が登壇し、和牛の生産背景や品質管理に関する講演を行った。
- 大使館料理人が、牛肉の切り方、調理の実演を行い、3種の試食を提供。
- レストラン・店舗での和牛の取り扱い拡大に向け、和牛の輸出入事業者とレストランオーナー・シェフ間のネットワークを促進した。
- 当地プレスも参加し取材したほか、当館から事後にプレスリリースを発出。

効果

- 参加者からは、「日本産との比較用にオーストラリア産も用意されたことで、色味、サシの入りの違いや食感の差を明確に理解できた。日本産和牛の調達も検討してみたい。」「大使館料理人による、日本産和牛の特徴を生かした加熱の仕方やメニューの提案は非常に参考になった。店舗で実践したい。」など日本産和牛のプロモーションにおいて非常に意義のあるイベントであったとのコメントが寄せられた。
- イベントには、有名レストランの現地人シェフ兼業界のインフルエンサーも参加。日本産和牛への理解を深め、魅力を評価する機会となった。
- 複数の当地紙に関連記事が掲載され、幅広い広報効果も得られた。



日本企業と国際機関のマッチング・イベント（トルコ）

在トルコ大使館

日時

実施日時：2026年2月9日（月） 17時～20時30分
実施場所：イスタンブール Tekfen Tower
訴求対象：日本企業関係者、主要国際機関トルコ事務所等
開催規模：約80人

概要

- 日本企業及び国際機関の連携を促すべく、大使館として**両者のビジネス・マッチング及びネットワーキングの機会を提供。**
- 前半は国際機関、日本企業、JICAの代表者が連携実績や連携を期待する分野につき**プレゼンテーション**を実施。後半はレセプション形式で**参加企業及び機関のマッチング**を支援。

効果

- イスタンブールを中心に活動する日本企業と、トルコ各地に拠点を置く国際機関が**互いの活動を知ることができた。**
- 国際機関は**日本企業と将来的な連携アイデア**を議論。
- 日本企業は、シリアの復興事業にトルコから参入する可能性を始め、**国際機関との新たなビジネス・チャンス**を模索。
- **国際機関で働く日本人職員も参加し、国際機関と日本企業の橋渡し役として活躍した。**

特記事項

- 今後復興需要が見込まれる地域進出を見据える商社に加え、独自技術を有する防災・建築、教育、ロジスティックス、農業と**幅広い分野の企業が高い関心と目的意識を持って参加。**
- 本イベント結果及び参加者のフィードバックを踏まえ、**国際機関の今後の案件策定を注意深くフォローアップ**する必要有り。



トルコから中央アジアへのビジネス展開支援：トルクメニスタン経済セミナー（トルコ）

在イスタンブール総領事館

日時

実施日時：2026年2月25日（水）
実施場所：テクフェン・タワー講堂（総領事館入居ビル）
訴求対象：在トルコ日本企業等
開催規模：約30人

概要

- トルコから中央アジアへの日本企業によるビジネス展開を支援するため、在トルクメニスタン日本国大使館と共催で在トルコ日本企業を対象に経済セミナーを開催。佐々木・駐トルクメニスタン大使が同国の政治経済情勢やビジネスの課題・展望について講演した他、JETROによる中央アジアにおけるビジネス支援についてJETROイスタンブール事務所が紹介を行った。
- セミナーの後はネットワーキングを設け、在イスタンブール・トルクメニスタン総領事やトルコでビジネスを行うトルクメニスタン企業も参加し、日本企業と活発な意見交換が行われた。

効果

- 参加日本企業からは「ネットの情報からだけでは分からないトルクメニスタンの実情が知れて大変参考になった。ぜひ今度出張したい」「トルコからの第三国ビジネス展開は引き続き重要軸として取り組んでいきたい」といった反応が寄せられた。

特記事項

- 本イベントを契機に、2025年12月に行われた『中央アジア＋日本』対話・ビジネスフォーラムに続く日本と中央アジアの経済関係の更なる強化を見込む。



佐々木・駐トルクメニスタン日本国
特命全権大使による講演



大山・外務省経済局官民連携推進
室長による冒頭挨拶



ネットワーキングの様子

食品・ガストロノミー分野のBtoBネットワーキングレセプション（トルコ）

在イスタンブール総領事館

日時

実施日時：2026年3月27日（金）
実施場所：ホテルイベント会場
訴求対象：在トルコ食品・ガストロノミー関係者
開催規模：約150人（約75社）

概要

- 日本産食品の魅力発信、食品・ガストロノミー分野における関係者間の人脈構築、日本食への理解増進と今後のさらなる普及を目的としたネットワーキングイベントを開催。
- 当日はトルコの政府機関、大学、輸入・流通・販売業者、料理学校、ホテル、日本食レストラン等の関係者約100名が来場。日本企業5社、トルコ企業5社の計10社がブースを設けてそれぞれの製品をPR。

効果

- トルコでは食品に対する輸入規制が普及の課題となっているところ、イスタンブール農林総局を来賓として迎え、日本食品の魅力をアピール。
- 公邸料理人が出展企業の製品を使った日本食（寿司、天ぷら、卵サンド）を提供することで日本食品を効果的にPRし、出展企業及び来場者からは好評を博した。また、イベントの継続と更なる発展に期待する声も寄せられた。
- 具体的には、出展数の拡大や日本食文化を紹介するブースの設置を求める声が寄せられた。

特記事項

- 日本産食品の普及を後押しするためには、通関トラブルへの対応など、継続的なフォローアップが必要。



岩間総領事とイスタンブール農林総局幹部



出展企業との意見交換の様子



公邸料理人による日本食提供ブース